

平成 24 年度 レジ袋削減協議会 議事録

出席者

【事業者】

植木（イオン小牧店）
佐藤（マックスバリュ中部株式会社）
山内（平和堂アル・プラザ小牧）

【市民団体】

平野（こまき環境市民会議）
稲垣（小牧市女性の会）
船橋（小牧市区長会）
鈴木（小牧消費生活研究会）
北出（ひまわり消費研究会）
佐々木（小牧市小中学校 PTA 連絡協議会）
山下（小牧市こども会連絡協議会）

【行政】

柴田（環境交通部長）
仲根（廃棄物対策課長）
伊藤（環境対策課長）

【事務局】

水野（環境対策課係長）
野村（環境対策課主事補）

傍聴：なし

あいさつ（稲垣会長）

日ごろは、レジ袋削減協議会にご協力いただきありがとうございます。参加されている事業者では、マイバッグ持参が多く見受けられ、感謝しています。しかし、買い物袋を持参される方は多いが、一部の層で定着していないので今後の課題となっています。消費者に広くマイバッグ持参いただくため、これからもご協力お願いいたします。

（１）参加事業者の状況について

- ・平成 24 年度→15 団体 23 店舗
- ・小牧市ホームページ上で協定参加事業者の募集呼びかけをしている。

(2) レジ袋辞退率について

- ・H23年度辞退率：90%で高い水準を保っている。

(参考) H22年度辞退率：91%

○質問・意見等

(稲垣会長) 辞退率が横ばいの状態が続いているのでもっとマイバッグを普及したい。

(市民団体) ほとんどの女性はマイバッグを持っているが、男性や外国人の持参率が低いので、周知の徹底をしてほしい。

(事業者)

- ・レジ袋の原料を石油からバイオマスに変えて袋を薄くして強度を保ち CO2 削減に努めている。
- ・女性の認知率が高いが男性1人の買い物ではマイバッグを持参しない方が多いので、男性に向けて周知をしていきたい。
- ・夜遅い時間の営業になると更にマイバッグ持参率が下がってしまう。
- ・寄附金の用途を明確に提示してほしい

(事務局)

- ・外国人向けにレジ袋削減のポスターを店舗に貼ってはどうか。
- ・レジ袋削減協議会の参加事業が減ってきているので拡大をしていく。

3. その他

- ・レジ袋収益金について、H21年～H24年(5月10日まで)の実績→2,931,829円となっており、小牧市住宅用太陽光発電システム設置費補助金の一部として使用している。